

福島経済マンスリー

8月の県内経済は、一部に弱い動きがみられ、全体では持ち直しの動きが緩やかになっている。

1. 2018年8月の県内経済

項目	コメント	景況判断	
		変化方向	水準
県内経済の景況	県内経済は、公共工事などがやや回復しているものの、生産活動には引き続き弱さがみられるなど、全体では持ち直しの動きが緩やかになっている。		
消費動向	大型小売店販売額(全店舗)は、百貨店が12カ月連続で前年を下回ったものの、スーパーが3カ月連続で前年を上回り、合計でも3カ月連続で前年を上回った。乗用車新車登録台数は、小型車、軽乗用車が前年を下回ったものの、普通車は前年を上回った。		
公共投資	公共工事前払保証取扱は、件数が3カ月ぶりに前年を下回ったものの、請負金額と保証金額が2カ月連続で前年を上回った。復旧・復興の進捗に伴い、請負金額は基調としては減少傾向で推移しているものの、震災前を上回る水準を維持し、直近ではやや回復がみられる。		
設備投資	民間非居住用建築着工は、棟数が5カ月連続、床面積が4カ月連続で前年を上回ったものの、工事費予定額が4カ月ぶりに前年を下回った。		
住宅投資	新設住宅着工戸数は、分譲が4カ月連続で前年を上回ったものの、持家が3カ月ぶり、貸家が2カ月連続で前年を下回り、全体でも3カ月ぶりに前年を下回った。		
生産活動	鉱工業生産指数は、前月比(季節調整済指数)が+2.4%と2カ月ぶりに前月値を上回った。業種別の前月比をみると、「窯業・土石製品工業」など11業種で上昇し、「電気機械工業」など8業種で低下した。		
雇用動向	有効求人倍率は、季節調整値が前月比△0.01ポイント、原数値が前年同月比+0.07ポイントとなった。一方、雇用保険受給者実人員は前年同月比△9.5%と7カ月連続で前年を下回った。		

注：「変化方向」は前月と比較した現在における景況の変化方向（：改善、：不変、：悪化）、「水準」は現在における景況の水準をそれぞれ示す。「変化方向」は当月と前月における3カ月加重移動平均の前年同期比の比較、「水準」は当月の3カ月加重移動平均値と過去5年間の平均値の比較等を参考に、それぞれ判断している。ただし、「変化方向」が改善または悪化の場合でも、「水準」が変わらない場合もある。したがって、足元の動向を示す「コメント」と「景況判断」は異なる場合もある。なお、公共投資および設備投資は6カ月加重移動平均値による判断、鉱工業生産指数は7月データ。

〈天気図（水準）の意味〉

晴れ	晴れ一部曇り	曇り	曇り一部雨	雨

良
い
悪
い

2. 県内経済動向の概要

(1) 前年同月比

(単位：%、ポイント)

	項 目	前 年 同 月 比					
		2018年3月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	0.4	△ 0.0	△ 1.5	1.0	0.5	0.6
	乗用車新車登録台数	△ 6.4	△ 2.6	△ 5.3	△ 9.0	3.3	0.5
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	12.9	△ 3.2	△ 57.9	△ 44.8	4.8	107.3
設備投資	建築着工工事費予定額（民間非居住用）	△ 8.4	△ 27.8	71.2	14.4	58.9	△ 24.0
住宅投資	新設住宅着工戸数	△ 30.9	△ 19.9	△ 30.7	26.0	5.5	△ 2.0
生産活動	鉱工業生産指数（総合）	△ 4.2	△ 3.3	3.9	△ 3.4	1.0	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む）	0.04	0.07	0.08	0.04	0.06	0.07
	雇用保険受給者実人員	△ 6.6	△ 1.7	△ 3.6	△ 7.1	△ 3.5	△ 9.5

注1 鉱工業生産指数は原指数、有効求人倍率は原数値。Pは速報値、rは訂正値。

(2) 前月比

(単位：%、ポイント)

	項 目	前 月 比					
		2018年3月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	11.6	△ 4.9	2.3	△ 2.3	6.4	0.5
	乗用車新車登録台数	59.3	△ 49.1	△ 0.8	23.2	△ 5.2	△ 18.0
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	91.4	△ 26.8	△ 39.9	76.1	△ 2.0	35.2
設備投資	建築着工工事費予定額（民間非居住用）	37.5	46.4	△ 30.1	△ 26.2	103.9	△ 63.4
住宅投資	新設住宅着工戸数	△ 24.4	44.9	△ 37.0	69.6	3.7	△ 3.1
生産活動	鉱工業生産指数（総合）	5.5	△ 2.4	4.2	△ 6.5	2.4	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む）	0.02	0.02	△ 0.02	△ 0.03	0.04	△ 0.01
	雇用保険受給者実人員	1.3	△ 0.9	22.0	△ 3.0	2.9	△ 1.3

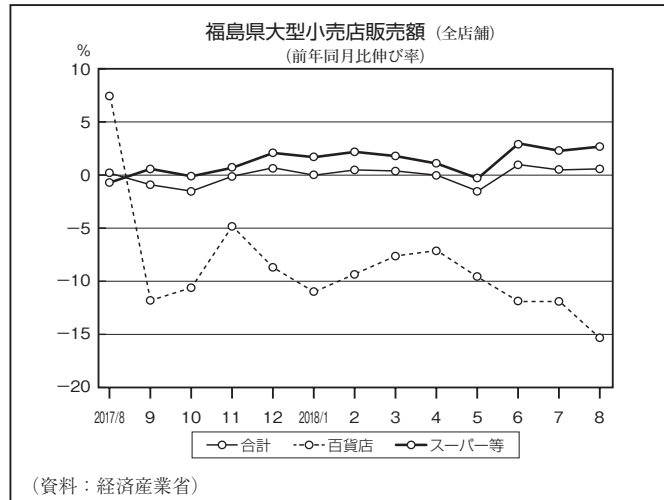
注2 鉱工業生産指数は季節調整済指数、有効求人倍率は季節調整値。Pは速報値、rは訂正値。

3. 県内経済動向

消費動向

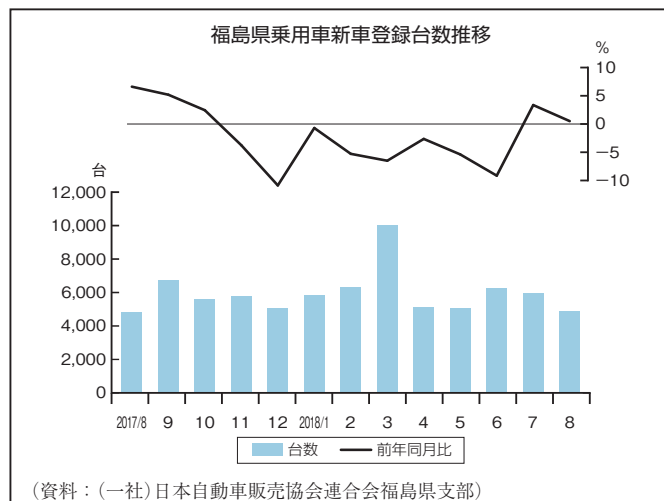
大型小売店：3カ月連続で前年比増

8月の県内大型小売店の販売額（全店舗ベース）は、合計で215億63百万円（前年同月比+0.6%）と3カ月連続で前年を上回った。業態別で見ると、百貨店は、衣料品、飲食料品がともに前年を下回り、合計では同△15.4%となった。一方、スーパーは、衣料品が前年を下回ったものの、飲食料品が前年を上回り、合計では同+2.7%となった。



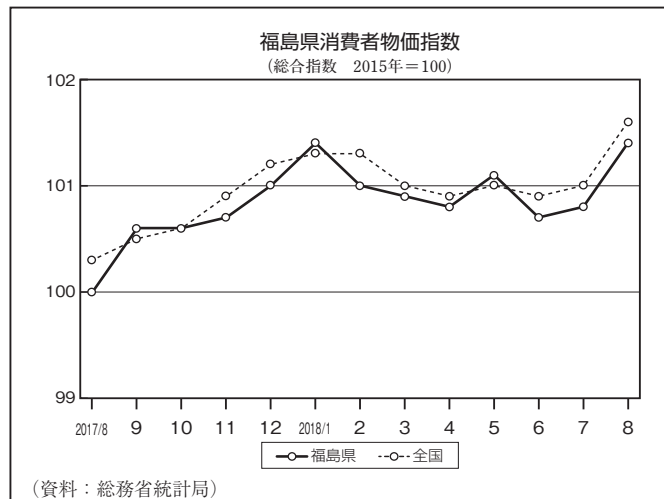
乗用車販売：2カ月連続で前年比増

8月の乗用車新車登録台数（ナンバーベース）は、合計で4,851台（前年同月比+0.5%）と、2カ月連続で前年を上回った。車種別で見ると、小型車が1,462台（同△8.0%）で2カ月ぶり、軽乗用車が1,684台（同△1.1%）で3カ月ぶりに前年を下回ったものの、普通車が1,705台（同+11.1%）と2カ月連続で前年を上回った。



消費者物価指数：前年比・前月比ともに上昇

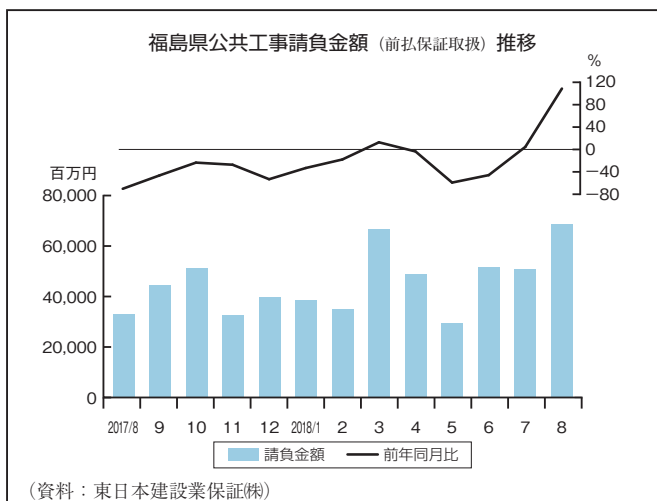
8月の消費者物価指数は、総合指数（福島市、2015年=100）が101.4で前年同月比+1.4%、前月比+0.6%となった。費目別に前月比で見ると、「教養娯楽」の105.8（同+3.4%）など4費目で上昇し、「被服及び履物」の91.3（同△4.1%）など3費目で低下した。



公共投資

公共工事：請負金額は2カ月連続で前年比増

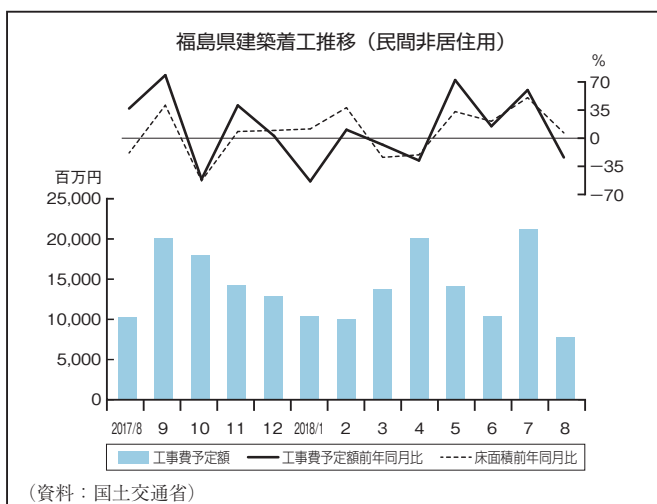
8月の公共工事前払保証取扱は、件数が607件（前年同月比△0.7%）で3カ月ぶりに前年を下回ったものの、請負金額が690億10百万円（同+107.3%）、保証金額が316億37百万円（同+96.0%）と、ともに2カ月連続で前年を上回った。



設備投資

設備投資：工事費予定額は4カ月ぶりに前年比減

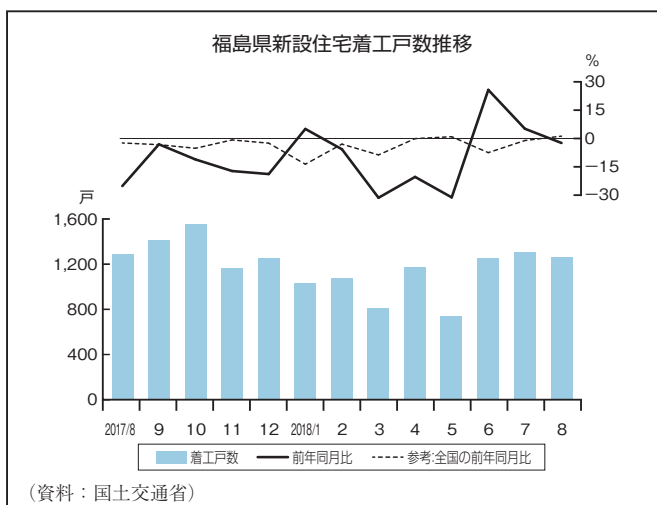
8月の建築着工（民間非居住用）は、棟数が162棟（前年同月比+4.5%）で5カ月連続、床面積が48,458㎡（同+6.2%）で4カ月連続と、ともに前年を上回ったものの、工事費予定額は77億73百万円（同△24.0%）で4カ月ぶりに前年を下回った。



住宅投資

住宅建設：着工戸数は3カ月ぶりに前年比減

8月の県内新設住宅着工戸数は、1,262戸（前年同月比△2.0%）と3カ月ぶりに前年を下回った。主な利用関係別にみると、「分譲」が275戸（同+91.0%）と4カ月連続で前年を上回ったものの、「持家」が522戸（同△8.4%）で3カ月ぶり、「貸家」が432戸（同△12.9%）で2カ月連続と、ともに前年を下回った。

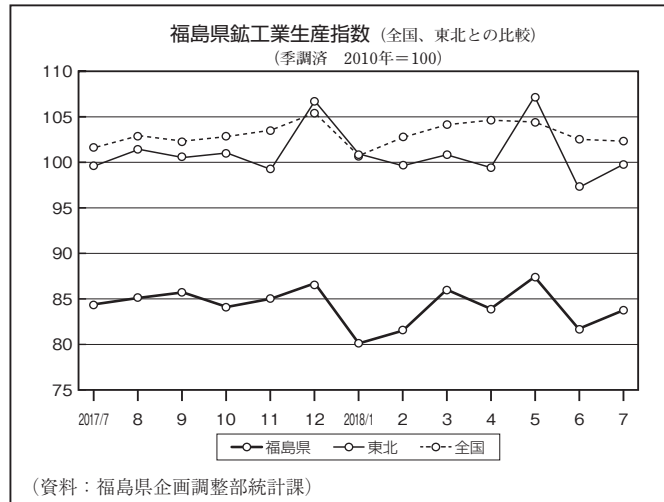


生産活動

※鉱工業生産指数は7月のデータ

鉱工業生産指数：前月比・前年比ともに上昇

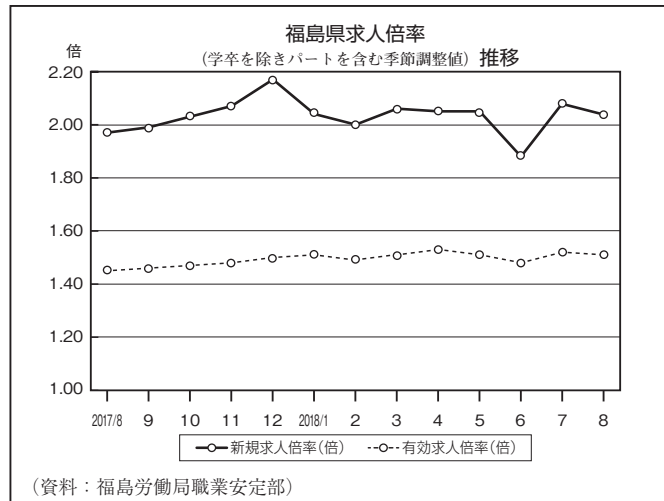
7月の鉱工業生産指数（季節調整済指数）は83.7で前月比+2.4%と2カ月ぶりに前月値を上回った。一方、原指数は86.7で前年比+1.0%と2カ月ぶりに前年値を上回った。業種別の季節調整済指数をみると、「窯業・土石製品工業」（前月比+20.0%）など11業種で上昇し、「電気機械工業」（同△9.7%）など8業種で低下した。



雇用動向

雇用動向：有効求人倍率は前月比低下、前年比上昇

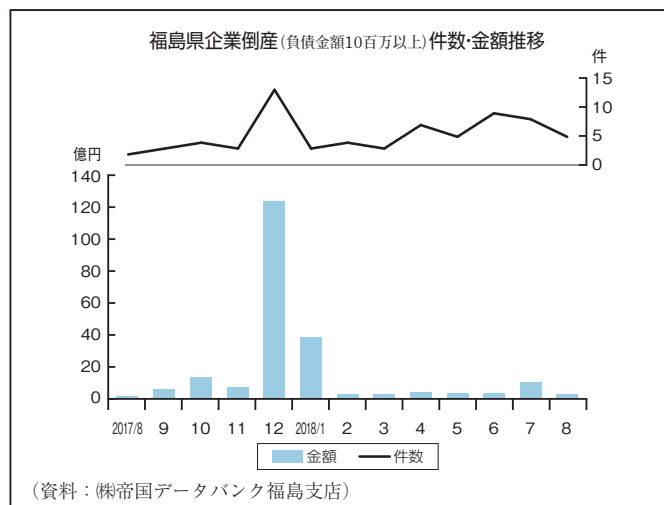
8月の新規求人倍率は、季節調整値が2.04倍（前月比△0.04ポイント）、原数値が2.16倍（前年同月比+0.09ポイント）となった。また、8月の有効求人倍率は、季節調整値が1.51倍（前月比△0.01ポイント）、原数値が1.49倍（前年同月比+0.07ポイント）となった。一方、8月の雇用保険受給者実人員は6,542人（前年同月比△9.5%）と7カ月連続で前年を下回った。



企業倒産

企業倒産：件数・金額ともに前年比増

8月の企業倒産（負債金額10百万円以上）は、件数が5件（前年同月比+150.0%）、負債総額が3億7百万円（同+241.1%）と、ともに前年を上回った。業種別では、サービス業で2件、建設業、不動産業、その他で1件ずつとなった。

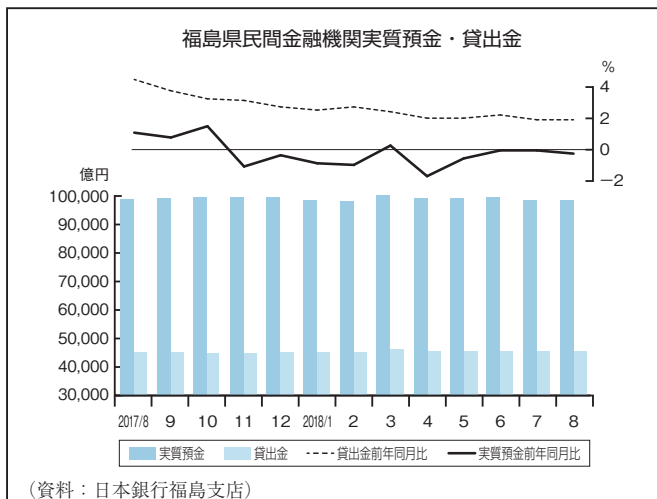


金融動向

資金需給：実質預金は前年比減

県内金融機関（全国銀行、信用金庫、信用組合の県内店舗分）の8月末の実質預金残高は、9兆8,869億円（前年同月比△0.3%）と5カ月連続で前年を下回った。一方、貸出金残高は、4兆5,654億円（同+1.8%）と5年3カ月連続で前年を上回っている。

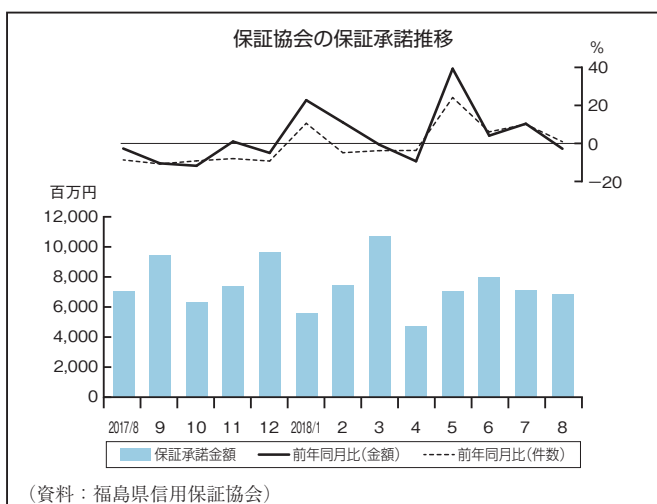
※実質預金は、総預金から手形・小切手を控除したものの。



保証協会：保証承諾は金額が前年比減

8月の保証承諾は、件数が598件（前年同月比+0.8%）、保証金額が68億13百万円（同△2.9%）となった。また、8月末日現在の保証債務残高は、件数31,784件（同△10.1%）、金額2,714億46百万円（同△9.1%）となった。

一方、8月中の代位弁済は、件数が37件、金額が2億73百万円となった。



4. 業種別動向

消費動向

※企業ヒアリング等による結果

家電大型専門店 8月の家電大型専門店の売上高は、猛暑によりエアコンや冷蔵庫が伸びたほか、スマートフォンが引き続き好調であった。全体では前年をやや上回った。

ホームセンター 8月のホームセンターの売上高は、カー・レジャー用品や家電製品などが前年を上回ったものの、主力の園芸・農業資材や日用品などが前年比減少し、合計でも前年を2%ほど下回った。

旅行 8月の個人旅行取扱額は、国内旅行が沖縄や北海道などを中心に前年を20%ほど上回り、海外旅行はほぼ前年並みとなった。

高速道路 8月の県内自動車道出入台数は、合計で5,180,387台（前年同月比△12.0%）と、8カ月連続で前年を下回った。路線別にみると、東北自動車道（白河IC～国見IC）が2,803,572台（同△2.0%）、磐越自動車道（磐梯熱海IC～西会津IC）が704,552台（同△3.0%）とともに4カ月連続、磐越自動車道（いわき三和IC～郡山東IC）が394,555台（同△13.2%）で6カ月連続、常磐自動車道（いわき勿来IC～新地IC）が1,277,708台（同△30.8%）で12カ月連続と、いずれも前年を

下回った。

福島空港 8月の福島空港の利用客数は、国内線が22,138人（前年同月比△13.1%）と2カ月連続で前年を下回った。路線別にみると、定期便では大阪便が14,281人（同△10.4%）で2カ月連続、札幌便が7,519人（同△13.9%）で4カ月連続といずれも前年を下回り、チャーター便は338人となった。一方、国際線はチャーター便のみの運航で96人であるが、1～8月のチャーター便累計では15,645人となり、前年同期比で9倍を超える規模となっている。（国際定期路線は全便運休、チャーター便には悪天候等による代替着陸を含む）

生産活動

※企業ヒアリング等による結果

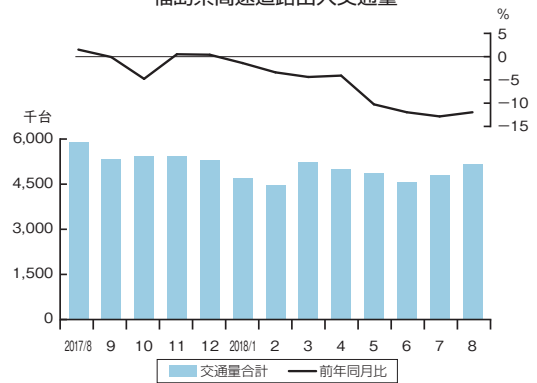
化学 8月の高機能樹脂は、自動車の部品用素材向け、家庭用製品の受注がともに堅調に推移しており、生産水準は前年をやや上回る状況が続いている。

鉄鋼・金属 8月の伸銅品の生産は、稼働日数の関係もあり、自動車向け端子材及び半導体向け電子材がともに前年を8%ほど下回ったものの、引き続き受注状況は安定している。8月の建機用鋳造品の生産は、好調な受注を維持し、前年を25%ほど上回った。8月の鋳鋼品の生産は、バルブ部品が前年を10%ほど上回ったほか、船用部品も前年比倍増となった。

輸送用機械 8月の自動車用鋳造品の生産は、前年をやや下回ったものの、トラック用の受注は引き続き安定している。また、オイルシールは、特に海外向け自動車関連の受注が好調で、生産水準は前年を上回る状況が続いている。

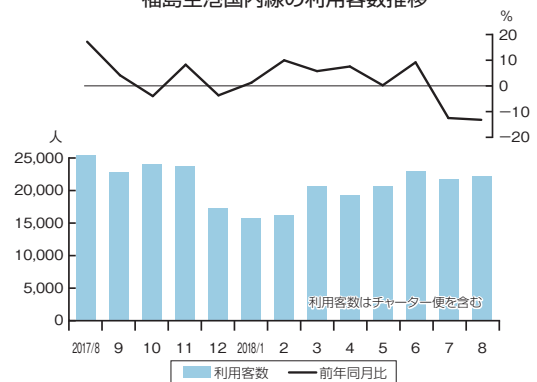
電気機械 8月の電気機械の生産は、誘導炉などが前年を上回ったものの、変圧器や配電盤、車載モータなどが前年を下回り、合計では前年を15%ほど下回った。

福島県高速道路出入交通量



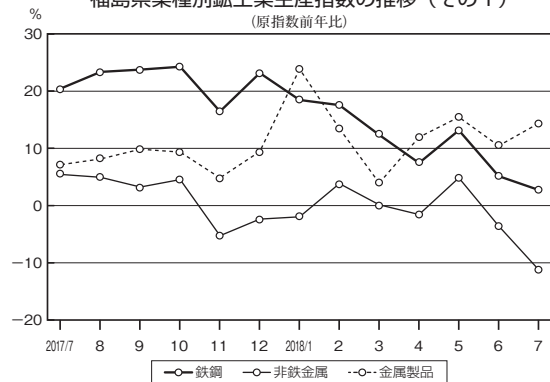
(資料：東日本高速道路(株)東北支社)

福島空港国内線の利用客数推移



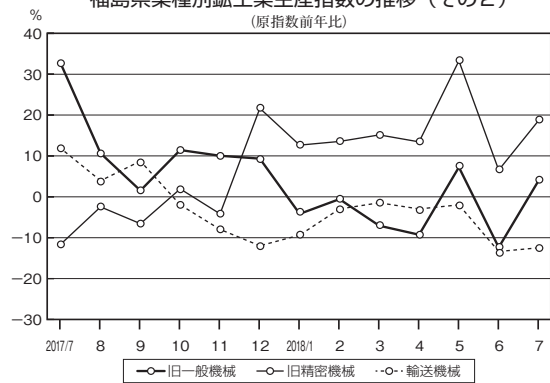
(資料：福島県商工労働部空港交流課)

福島県業種別鋳工業生産指数の推移 (その1)



(資料：福島県企画調整部統計課)

福島県業種別鋳工業生産指数の推移 (その2)



(資料：福島県企画調整部統計課)

情報通信機械 8月の情報処理装置の生産は、ほぼ前年並みとなり、受注状況は引き続き安定している。

電子部品・デバイス 8月のLSI（大規模集積回路）の生産は、前月を3%ほど下回ったものの、前年比では25%ほど上回り、需要回復を背景に生産水準は前年を大きく上回っている。

精密機械 8月の医療用内視鏡は、国内外ともに受注が増加し、前年を20%ほど上回った。また、デジタル一眼レフカメラ用レンズは、国内外での需要が引き続き旺盛で、フル稼働の生産が続いている。

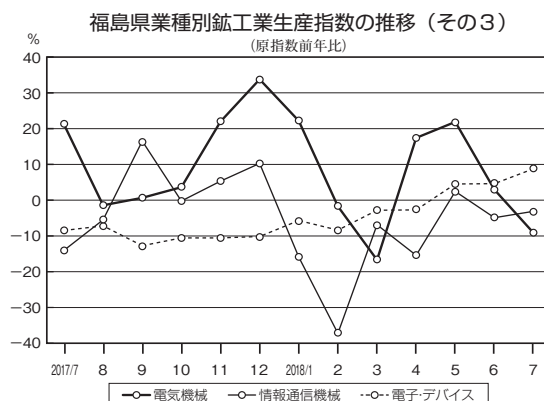
窯業・土石 8月の生コンクリート出荷量は、全体で126,829m³（前年同月比△3.4%）と6カ月連続で前年を下回った。地域別にみると、官公需では相双地域と白河地域が前年を上回ったものの、全体では前年を15%ほど下回った。一方、民需で前年を下回ったのはいわき地域のみとなり、マンションや工場建設などに伴い全体では前年を10%ほど上回った。

紙・紙加工品 8月の製紙の生産は、感熱紙が輸出を中心に底堅く推移する一方、ノーカーボン紙が引き続き減少傾向という流れに大きな変動はなく、全体ではほぼ前年並みとなった。

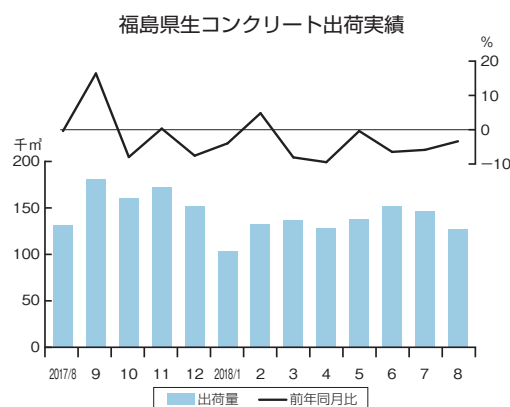
清酒 8月の清酒移出数量は、828kL（前年同月比△5.8%）と2カ月ぶりに前年を下回った。酒類別では、一般酒（特定名称酒以外の酒）が340kL（同△10.9%）と6カ月連続で前年を下回った。また、特定名称酒（吟醸酒・純米酒・本醸造酒）は前年が好調だったこともあり487kL（同△1.9%）と3カ月ぶりに前年を下回った。

化合繊維物 8月の化合繊維物は、受注状況が安定しており、生産額は前年をやや上回る水準を維持している。

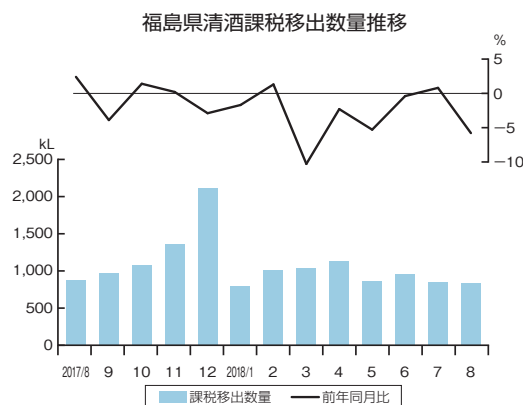
ニット 8月のニットは、冬物の生産が中心となり、生産額は前年をやや上回った。



(資料：福島県企画調整部統計課)



(資料：福島県生コンクリート工業組合)



(資料：福島県酒造組合)